

有限会社オーバーオール

総務省の調査によると、全国の携帯電話契約件数は平成14年12月末現在で7,351万件に上る。これは人口比率で見ると57.8%、世帯数比率で見ると156.3%で、まさに「1人1台・一家に1台以上」という計算になる。より高機能に、より複雑化する携帯電話だが、そうした「進化」だけに目をうばわれるのではなく、魅力的なコンテンツとシステム開発に取り組むのが「オーバーオール」のスタッフたちだ。

4人の仲間が集まって

「オーバーオール」の設立は、平成14年10月。代表である渋谷綾子さんを中心にチャレンジ精神あふれる若い開発者たちがメンバーだ。

「自分たちで仕事を始める時は絶対に『オーバーオール』という名前がやりたかったんです。音として聞いた時のかわいさに加えて『over』『all』——『すべてを超える』という前向きな意味もいいですから」

企業向けの多種多様なシステムを手がける中で自然とわき上がってきた新しい分野への挑戦という気持ち——それが出発点だった。

携帯電話を誰でも活用できるように

「私たちが最初に着目した製品の対象は携帯電話でした。これにはもちろんシステムの部分も重要ですが、よりユーザーの視点を重視してどのように利用されるか、を踏まえることも必要だと思うんです」渋谷さんは、最近のより高度なサービスが必ずしもニーズのすべてではないという。

「例えばmコマース(モバイル決済)を応用した自動販売機がありますよね。携帯電話で飲み物が購入できるので、硬貨が不要という利点は将来的に必要な技術でしょう。ただ、その前に携帯電話を本当の『ツール』として活用できる方法があると思っています」

その例として、産声を上げたばかりのソフト「オールポケット」を見せてもらった。誰でも気軽に携帯用ホームページを作成できることを目指して開発されたものだ。

「携帯電話各社や機種により、さまざまな差異があるため、一度の作業で全ての携帯電話にあったホームページを作ることが出来ませんでした。そのため携帯電話向けホームページを作るには制作コストや時間を費やすことを要求されていました。『オールポケット』を使うことで作業の効率化とともにインタラクティブな表現が可能になります。『もちろん利



オーバーオール「オールポケット」の操作画面

用していただく皆さんは、プログラミングの知識などは必要ありません。自分が作りたいホームページをイメージしていただき、後は自由に組み立てていきます」

北の地から新しい世界を発信

「オーバーオール」では、自社製品のほかにも、企画からクライアントと共にシステムを組み上げるプロジェクトにも参加している。

「現在進行している教育関連の携帯電話用コンテンツもいままでなかったものをということから、東京の会社と一緒に開発しています。これからこうしたコラボレーションは続けていきますが、やはり北の地から魅力あるコンテンツやシステムを発信していることをもっとアピールしたいですね」

「オーバーオール」には胸当て付きのズボンほかに「総合的な、全体的な」という意味がある。一部の経験、知識豊富な人たちだけでなく、ユビキタス社会へ向けたツールの実現——「オーバーオール」がその扉を開こうとしている。

有限会社オーバーオール／DATA
盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス7F
TEL 019-621-5276 FAX 019-621-5286
ホームページ <http://www.overall.co.jp>
Eメールアドレス info@overall.co.jp

いわて新産業創造センター
インキュベーション
入居企業の紹介

◆インキュベーション
とは、企業成長を
支援するための施設
で、創業間もない企
業等に低額で貸与す
るマリオス7階のオフィ
ススペース。入居者
に対しては総合的な
支援を実施している。



「オーバーオール」の代表である渋谷綾子さん。盛岡と東京方面との頻繁な行き来を持ち前のバイタリティーで難なくこなす。「システムを採用していただけるのは企業のトップの皆さん。IT不況といわれるいまこそ、魅力あるコンテンツをそうした方々にアピールしていきたいですね」



スタッフの山口さんとインキュベーションルームにて